



小島 拓也 隊員の

# 地域おこし協力隊通信

回覧

平成 26 年  
5 月発行  
第 1 号

厚田区の皆様、地域おこし協力隊新聞を初めてお届けします。  
私が厚田に来てから、もういっぱいの方たちから優しい声を  
かけて頂き、助けてもらっています。

## 「ありがとうございます。」

今はまだ江別市に離れて暮らす家族を厚田に呼ぶ為にも、  
厚田区全体を、今よりももっと楽しく賑やかにしたいです。

まだご挨拶していない皆さんにも見つけてもらいやすい様に、  
最近「黄色いジャンパー」を着て、少しでも目立つ様にしています。

（ 仕事じゃない時も、黄色いジャンパーを着て、郵便屋さんの様な  
荷台のついたバイクで厚田区中を走り回っています。 ）

…もしも見かけたらその時は、

「おう！こじ！」とか、「たくちゃん！」

とか、声をかけてもらえると嬉しいです！

## 「いつも何をしているの？」

皆さんの「こんな厚田にしたい」の声を集めています。  
また、厚田での様々な体験を情報発信しています。

### [例えばこんな事をしました]

- ・ 色々な団体の皆様への挨拶
- ・ 稲の種まき
- ・ イベント看板の設置
- ・ ゲートボール場のフェンス設置手伝い
- ・ ホタテ稚貝のウロ取り

…など

厚田区地域おこし協力隊 小島 拓也

携帯電話：080-6069-5304

E-mail(個人)：a-ishikarishiatsutakojima@gmail.com

Facebook (フェイスブック)で、

厚田での暮らしを発信しています！

<https://www.facebook.com/kojitaku>

ぜひ、皆さんの声をお寄せ下さい！

仕事の体験・お手伝いも、本当にお気軽にご連絡ください！



ウラ面は沼倉隊員に続きます！



## 沼倉 瞳 隊員の

# 地域おこし協力隊通信

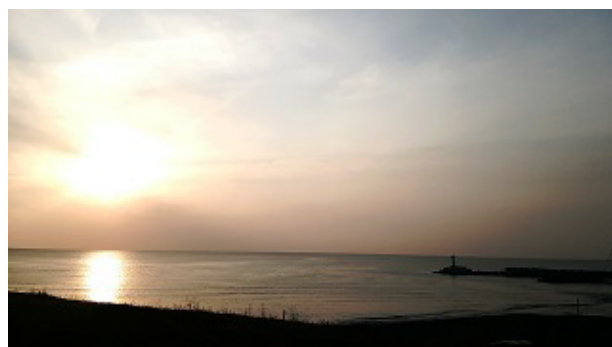
## 着任して 2 カ月が経ちました！

旬の海産物、山菜、木々の新緑。季節の移ろいを感じているうちに、厚田での生活も早 2 カ月が経ちました。「新しい生活には慣れた？」たくさんの方にお声かけいただきます。そんなお言葉をいただくたびに、厚田に来てよかったなと感じます。

逆に、以前住んでいた場所にはなかった海のある風景やカモメの声、壮大な風力発電や美しい夕日はまだまだ見慣れず、感動の毎日です。

着任後ほぼ毎週、趣味の「釣り」を楽しんでいます。築港で短い竿を足元にたらず程度の初心者ですが、今までにカレイ、アブラコ、

カジカを釣ることができ、唐揚げ、煮付け、ソテーにいただきました。ひとつ難点なのは「粘らなくなった」こと。あまりに海が近すぎて、またすぐに来れるからと諦めが早くなってしまいました。



▲厚田に来て初めて撮影した写真は「夕日」でした

## 初めての「もみまき」体験

生まれて初めて、「もみまき」を体験させていただきました。私が生まれ育った十勝には稲作がなかったので、なにもかもが新鮮！脱穀していないお米から小さな根が出ているのも初めて見ましたし、「もみまき」という言葉も初めて聞きました。

大量のもみと、ハウス内にずらりと並んだ苗床。気が遠くなる数です。お米農家さんの大変さを感じました。おいしいお米になりますように！



▲水を含んで重くなった苗床。運ぶのも大変です。

## 「しその想い」

厚田の特産品の一つ「しその想い」。炭酸飲料で割って飲まれる方が多いと思いますが、私はこれを牛乳で割って飲んでみました。これがとってもおいしい！酸味がマイルドになり、色合いもキレイ。夏の飲み物にぴったりです。

シソはβカロチンの含有量が多く、活性酸素の生成を防ぐ抗酸化作用がありますので、生活習慣病の予防や美容にも効果があるようですよ。この飲み方をお試しくださる方、ぜひご感想をお聞かせくださいね。

